

令和8年度前期を終えて

校長 梅澤 謙

▼保護者の皆様へ

日頃より、本校の教育活動に対し温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。前期終業式の節目に、皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

7月18日の啓北祭一般公開において、皆様から多大なご協力をいただきましたことに、深く御礼申し上げます。皆様の温かいサポートと、生徒たちに寄り添う姿勢があったからこそ、生徒たちは日頃の成果を存分に発揮し、笑顔あふれる素晴らしい学校祭を作り上げることができました。心より感謝申し上げます。

これまで他校生には開放していなかった啓北祭ですが、今年度から藻岩生に限り公開したところですよ。

▼続く啓北

さて、本校は商業高校として、長年にわたり地域社会に貢献する有為な人材を輩出してまいりました。商業高校で学ぶメリットは「社会と直結した『生きた学び』」が得

られること」にあります。本校最大の特長である3年生の課題研究に向けて、商業科が2年前に、1年生のビジネス基礎、2年生のマーケティングで、これまでより継続性を持った指導を行っており、より商業高校としての実践力が向上しています。教科学習にとどまらず、簿記や会計、情報処理といった資格の取得等のビジネススキルを身に付けることは、将来どのような道に進むとしても武器となります。―社会の仕組みを肌で感じ、自ら課題を見つけて解決する力―これこそが、情報駆動社会となった時代を生き抜く生徒たちにとって、商業高校だからこそ得られる最大の価値であり、強みです。

この確かな学びの基盤の上に立ち、本校は今後、藻岩高校と「発展的な再編成」を行い、新たに市立札幌彩輝高等学校として継続するステップを踏み出します。

ここで私たちが使う「発展的」という言葉には、単に二つの学校が一つに合流するという意味を超えた、強い決意が込められています。それは、啓北商業が培ってきた「社会に直結する実践的なビジネス教育」と、藻岩高校が築いて

きた「高い探究力」という双方の強みを掛け合わせることです。これまでの商業教育、普通科教育の枠組みをさらに進化させ、これからの変化の激しい社会を先導する、より高度で、より多様な選択肢を持った時代の学びの場を創造する。それこそが、私たちが目指す「発展的再編成」の真意です。

▼これからの啓北

しかし、未来に目を向ける一方で、私たちが今、最も大切にしなければならぬのは「今日、この瞬間」の啓北商業です。本校は、「啓北商業」の名前がある限り、一日たりとも立ち止まることなく、常に挑戦し、最後まで「進化し続ける学校」であり続けます。

創造 Creation

協働 Collaboration

挑戦 Challenge

私たちは、このスクールポリシー「3C」に根差し、これまで以上に教育活動を充実させ、生徒一人ひとりが自己理解を深め、社会へと羽ばたく環境を追求し続けます。啓北商業としての誇りと情熱を燃やし尽くし、バトンを繋ぐ覚悟です。

保護者の皆様には、どうか今後

とも、進化を止めない生徒たちの挑戦を、そして啓北商業高校の歩みを、私たち教職員と共に温かく見守り、支えていただけますようお願い申し上げます。